

# 世界は大きな転換期を迎えている 第40回全国大会開催！



1989年5月8日第三種郵便物認可

2022年5月15日不屈

(毎月15日発行) No.575

## 第40回全国大会 活動報告と運動

はじめに「新しい時代へ進むために不可欠の同盟の存在意義」

世界は大きな転換期を迎えています。1920年代の大国による領土分割、戦争とそれに抗して起ちあがった民衆の運動への過酷な弾圧の時代から、第2次世界大戦、戦後の植民地の独立や社会主義を標榜する複数の国家の誕生、冷戦時代とその終わりを経て、現在に至っています。とはいえ、第2次世界大戦後の終大のロシアによるウクライナへの侵略戦争に見られるように、かつての看板など関係なく、むき出しの軍事大国や時代遅れの軍事同盟の姿が明らかになり、時代が逆行したかのようにも見えます。

しかし100年前と決定的に違っているのは、さまざまな民衆の運動をはじめとした市民社会の力が、核兵器禁止条約の発効に見られるように、国際政治を動かすまでに大きく成長してきていることです。軍拡競争ではなく、市民社会の声をこめて、戦争を止めるもつとも確かな方なのです。

その中で、かつての戦争犯罪をはじめ植民地時代の略奪や奴隷貿易など、多くの人々を苦しめた人権侵害への反省・謝罪も進められるようになりまし。また、男女格差の解消や性的少数者の権利擁護も含めたジェンダー平等の課題も政治の大きなテーマになっています。さらに冷戦終結後、旧東側諸国や中国などが次々とグローバルな資本主義へと統合されましたが、もはや資本にとっての新たな開拓地は見えず、内部的には貧困と格差の拡大、外部的には気候危機に現れているように、地球規模の限界も明らかになってきています。

- 激動の時代に立ち向かう強大な同盟を建設しよう！
- 憲法改悪阻止・市民と野党の共同の運動と結んで、2万人会員と300支部の建設、請願署名自主目標の達成を！
- 治安維持法下で闘い・抵抗した人々を発掘し、その事跡を歴史の記憶遺産として、後世に伝えよう！

### 国賠同盟40回全国大会に 参加して

原田 完

第40回全国大会が、6月12日・13日に東京の全労連会館ホールで開催され、京都からは原田、佐藤副会長、藪田事務局長の3名が参加しました。

吉田万三会長代行の開会挨拶ではじまり、冒頭2月6日にご逝去された増本会長をはじめ、この間、お亡くなりになられた物故者が紹介され黙とうを捧げました。

増本会長は、亡くなる直前まで、国賠同盟発展のため全国各地の集会に参加し活動を激励し、国会による謝罪と賠償、戦争への道、歴史修正主義者の策動の今日の情勢での国賠同盟の果たす役割を示唆・激励されてきたことなどが紹介されました。

私と増本さんのかかわりでは、近畿ブロック会議など関西方面での会議でお会いすると、休憩時間に喫煙室などで、様々な角度からの運動への激励や示唆の話や伺った事が懐かしく思い出されます。新会長の吉田万三さんとも休憩時間などで親しく増本さんの話を伺うことが出来ました。

田中事務局長の40回大会報告と提案が行われ、はじめに現在の政治情勢としてロシアのウクライナ侵略を口実に岸田首相が、バイデン米大統領の会談で軍費のGDP2%11兆円への大軍拡を約束したこと

(577号付録)  
京都版 第444号  
2022年7月15日  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
京都府本部

〒604-8832京都市中京区  
壬生下溝町 51-41  
(電) 090-8575-9851  
fax 075-325-3863  
E-mail info@kokubai-kyo  
to.com  
ホームページ <https://kokubai-kyoto.com>

を厳しく批判。参議院選挙を改憲勢力三分の二以下に追い落とす戦いと位置づけ、今回は野党共闘の困難な状況も示しながら、「武力対武力」の軍事力依存の大軍拡路線に対し国民が「平和で安心」して暮らせる新しい日本を作るために同盟はその先頭に立ちとうと訴えられました。

大会成功に向けた到達と教訓が詳細に報告され、同盟員拡大では3月から5月の拡大期間で416人を拡大し、前大会から188人増の前進で16585人の過去最高現勢で大会が開かれたことが報告されました。また、最高現勢到達県が10県であったことも併せて報告されました。現勢を3桁以上減らしているのは3府県で残念ながら近畿では京都をはじめ2府1県でした。2万人同盟建設が目標であり、6月1日現在の各府県支部の

目標は19886人で1日でも早い達成が呼びかけられました。2万人同盟建設に込める奮闘が求められています。拡大の教訓では50周年で作成した映画「わが青春つぎるとも」伊藤千代子の生涯」の上

映運動は6月8日時点で32県31000人が鑑賞し、鑑賞した方々からの大変感激したとの声が寄せられ、同盟加入呼びかけで前進を果たしている状況も報告されました。京都の上映成功と同盟への加入を働きかけ、2万人同盟建設に京都府本部がその大きな役割を果たすことが重要となっています。

第49回議員要請行動が、5月11日に全国22道府県の代表108人が参加して行われました。生活凶画事件犠牲者の北海道の菱谷さん(100歳)も参加され、各党160人の議員への要請行動で紹介議員

100人で、引く続き要請を強めていくことが報告されました。国会請願署名が、20

18年以降、20万筆割れとなっておりコロナ禍での困難さはあるとしても、今年は97505筆と大きく落ち込んでおり、来年度は、国会請願50回分の取組みであり、自主目標の34万筆を積み上げて、一日も早い国家による謝罪と賠償を実現させましょう。署名活動は同盟の活動を知ってもら

う最も基本的な活動であり、有権者比を意識した活動が求められ、全同盟員の参加での成功が強調されていました。団体署名の強化が強調され、記入上の注意点等も。団体のハンコが有っても代表者自筆の氏名・住所の記入が必要との報告がされました。同盟活動の発展の基本は、支部建設であることが強調され、前大会後に新たな支部建

設は11県15支部でした。

女性部の確立についても、一つ目は、女性が治安維持法による過酷な弾圧に抗して女性の地位と尊厳、生命を賭して国民主権主義の政治実現を目指し、闘おうとした歴史を受けつぐ。2つ目は、女性団体との交流によって同盟への理解と影響力を広げることが出来ること、女性部確立の重要性が強調されました。

夜の懇談会では、増本会長の奥さんから増本さんの日ごの活動や国賠同盟に対する思いの一端が報告され、病をおして各府県やブロック会議に出席された様子や病に倒れてからも、自宅で会議が出来るようにと会議用の家具の購入をされるなど、国賠同盟に対する壮絶な思い、2020年代の国家による謝罪と賠償要求実現への並々ならぬ思いが語られ、私たちの背筋がピ

ンと伸びたような思いがするお話を伺いました。

大会に参加して、戦争の道を止める戦いの最前線が国賠同盟の結成の意義と任務に照らして重要な段階にきていることをひしひしと感じました。共産党結党時の行動綱領が今日の日本国憲法に示され、反映されていることを確信にすると共に、歴史的勝利と同時に守らなければならない課題と大運動が示されていると思いました。

京都府本部で進めています  
治安維持法犠牲者の名簿作成と顕彰がその足跡を掘り起こし後世へと伝えるものとしてよりその重要性に身の引き締まる思いでした。

### 第40回全国大会での代議員としての発言要旨

佐藤和夫

1、治安維持法犠牲者名簿の作成の進捗状況について

京都として犠牲者名簿の作成に当たり、二つ柱をたてました。

一つは、京都関連の犠牲者という範囲です。当然、本籍・住所・主な活動地などですが、京都の場合は大学・高校など教育機関を含めると対象者は全国的になります。たとえば、治安維持法の国内適用第一号

は京都学連事件ですが、京大生や同志社大学生だけでなく、中心人物として東京関係者が多くいます。また、敗戦による治安維持法廃止の年には、警視庁から脱走した下作家のタカクラ・テルを逃亡幫助したとして逮捕された哲学者の三木清(獄死)、唯物論研究の戸坂淳唯物論研究会の戸坂潤(獄死)などいずれも京大卒です。さらに、共産党再建

運動としてでつち上げられた「横浜事件」では、雑誌「中央公論」の編集者・和田喜太郎も京都出身者です。

二つは、1925年4月に制定され1945年10月に廃止された治安維持法が、どのように改悪されたの

ように改悪されたのよう弾圧対象がひろがっていったのか。結社に加入した共産党員や共青同盟員から、結社の目的を遂行するために関係したと広がります。たとえば、1

935年12月の宗教弾圧のはじまりとなった第二次大本教弾圧の場合などは、立て替え・立て直しの「世直し」実現で現実の苦難から救済されるという教義が、天皇制否定に結果するなど弾圧されました。京都高齢者大学では、文化講座として大本教の方を講師に招いて大本弾圧の歴史をかたつてもらおう企画もありました。コロナ禍の影響で一時的に

ていますが、イギリス国教会の聖公会キリスト教の弾圧なども含め、宗教者との民主主義を求める統一戦線運動として、治安維持法犠牲者顕彰運動に位置付ける途を探求しています。

2、「伊藤千代子」上映運動について

現時点では、京都府下各実行委員会を結成し5会場12回であり、京都市内については

「平和のための京都の戦争展」の国賠同盟の「文化企画」として8月5・6日の2日間4回上映を予定しています。特に、戦争展には若い人が多数参加されますので、大いに「治安維持法」が過去の出来事にとどまらず、ロシアのウクライナ侵略に便乗した『軍事対軍事』のおおる言説を許さぬ闘いとして上映を成功させたいと思います。

# 映画 わが青春つきるとも ～伊藤千代子の生涯～ 8月5日・8月6日 いよいよ京都市内で上映!

権力に抗して

声をあげた乙女がいた

戦前、治安維持法により24歳の若さで倒れた伊藤千代子。早くからジェンダー平等の視点を持ち、命をかけて戦争反対を貫き、社会変革に生きた千代子。人間が人間らしく暮らせる世の中になることを追求した千代子の生き方は、私たちの願いに通じます。

治安維持法国賠同盟は、劇

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の上映運動に取り組んできました。稀代の悪法「治安維持法」が

公布され思想言論弾圧が激しくなるなか、「侵略戦争反対」「主権在民」「ジェンダー平等」の社会を目指し志を貫き

通した「伊藤千代子の生涯」を描いた映画です。

この映画のこの時期の上映は極めて意義深く、多くの個

人、団体の方々の協力を得て

成功させたいと考えています

皆様方には、大変お忙しいかと思いますが、誘い合つてご参加いただきますようお願いいたします。

◇ ◇ ◇

2022年

「平和のための京都の戦争展」

日時…7月31日～8月7日

会場…長浜バイオ大学京都キャンパス（府立医大病院向かい）

◇ ◇ ◇

治安維持法国賠同盟は戦争

展の文化企画として「わが青春つきるとも」を上映します

◆8月5日（金）

①10時30分

②13時30分

◆8月6日（土）

①10時30分

②13時30分

会場内にて上映成功協力募金をお願いいたします

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

第37回総会のご案内

京都府本部総会を次のように開催いたします。

会員の皆様のご参加をお願いいたします。

◇日時

9月10日（土）

◇会場 長浜バイオ大学

京都キャンパス（府立医

大病院向かい）

◇一部 学習会

13時30分～1時間以内

講師 本庄 豊さん

テーマ『山本宣治とその

時代』京都治安維持法犠

牲者名簿出版の意義』

◇二部 第37回総会

一部学習会終了後

コロナ対策をお願いいたします。